

株主の皆さまへ
第68期 報告書

(2020年12月1日から2021年11月30日まで)



アスカ株式会社

証券コード：7227

目次

ごあいさつ	2
連結決算ハイライト	3
セグメント別概況	5
連結財務諸表	7
事業トピックス	11
会社概要	13
株式の情報	14



社名の由来

日本の文化や工業が発祥した飛鳥時代を連想させ、アスカの「文化」をつくり、「人と技術」に優れた会社になりたいという思いが込められています。また、国際化時代への意気を込めて、日本生まれ、日本育ちの企業らしく、日本語を語源としながらも発音しやすい「アスカ」としました。

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、ますますご清栄のことと拝察申しあげます。

第68期の報告書をお届けするにあたり、平素のご支援に対し心から厚くお礼申しあげます。

当期につきましては、次頁の連結決算ハイライト以降に示しましたとおりの経営成績とすることができました。わが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を背景とした生活様式の変化、度重なる政府の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の実施など、経済活動の停滞が継続し、依然として厳しい状態にありました。ワクチン接種の促進により、経済回復の動きが徐々に広がりましたが、国内外で変異株を主要因とする感染症拡大が見られ、感染の動向が経済に与える影響、世界的な半導体不足の問題等、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

このような状況のなかで、当社グループは提案型の営業を積極的に展開するとともに、より効率的な製造体制を目指して、技術開発及び合理化活動を強力に推進しました。

当社グループが関わる自動車産業は、ハイブリッド車・電気自動車などのエコカーの普及や自動運転支援技術の加速、また、自動車が所有するモノから利用するモノに変わるといったライフスタイルの変化など、かつて経験したことのない急激な構造変化の波が押し寄せております。

当社グループといたしましては、「バリューアップ」を全社スローガンに掲げ、デジタル化によるヒト・モノ・コトの情報をつなげ、プロセスの高度化を実現するとともに、「永続できる製造体質づくり」「利益重視の受注戦略」「思いやりのある会社づくり」に取り組み、事業の発展と製造力・技術力を強化し、すべてにおいて審査、精査を重ねて一段とより良い状態を目指してまいります。

また、新技術、新商品、新事業分野の開発にこれまで以上に力を注いでまいります。

なお、業績の結果を踏まえ、期末の配当につきましては、1株につき21円とさせていただきます。中間配当15円と合わせ、年間36円の配当となりました。

2022年2月



代表取締役会長
片山敬勝



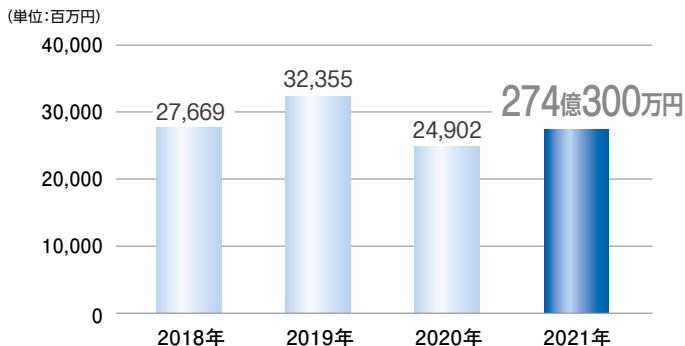
代表取締役社長
片山義規

連結売上高

前期比

10.0%増 ↑

新型コロナウイルス感染症による影響からの回復により、自動車部品事業で部品売上が増加したことに加え新車種の立ち上がりにより金型売上が増加した結果、前期比10.0%増の274億300万円となりました。

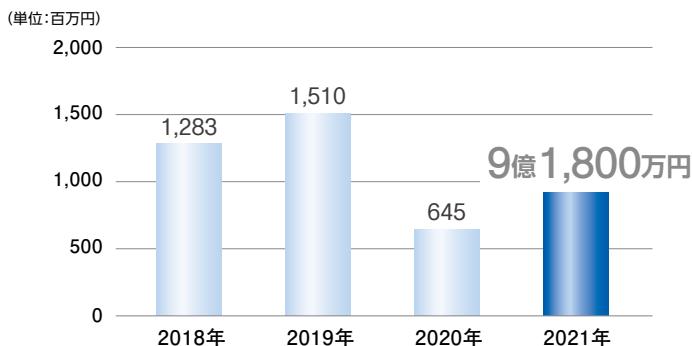


連結営業利益

前期比

42.3%増 ↑

売上高増加により前期比42.3%増の9億1,800万円となりました。

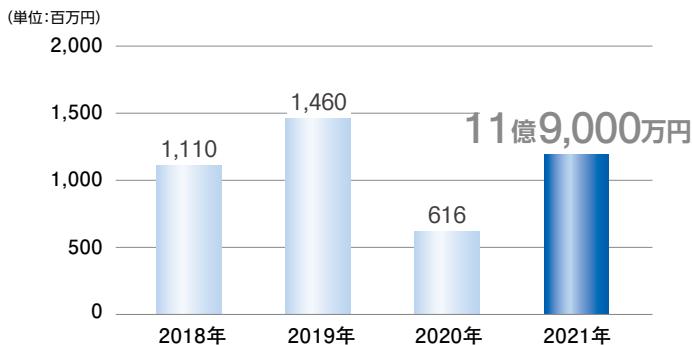


連結経常利益

前期比

93.2%増 ↑

今期より関連会社を連結に含めたことによる持分法投資利益、為替差益等を営業外収益に計上した結果、前期比93.2%増の11億9,000万円となりました。



連結当期純利益

前期比

129.0%増 ↑

中国への出資会社の清算に伴う清算金を特別利益に計上したことに加え、日本及び米国において、法人税の税額控除を受けた結果、前期比129.0%増の10億4,800万円となりました。

(単位:百万円)



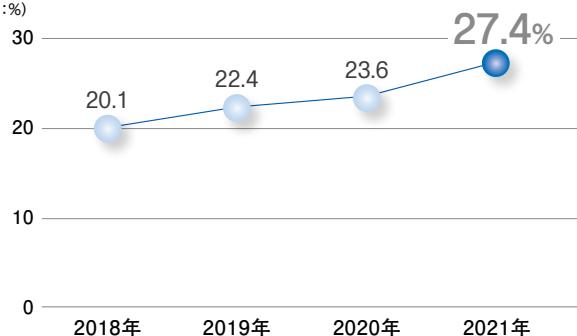
自己資本比率

前期比

3.8ポイント増 ↑

前期比3.8ポイント増の27.4%となりました。

(単位:%)



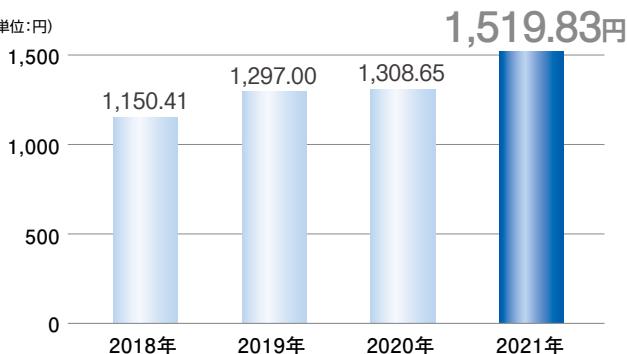
1株当たり純資産

前期比

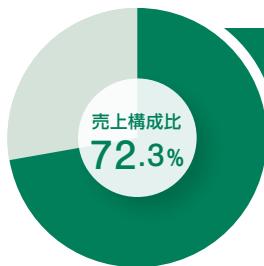
16.1%増 ↑

前期比16.1%増の1,519.83円となりました。

(単位:円)



自動車部品事業



売上高

198億1,900万円

(前期比 27億8,500万円増)

営業利益

5億6,400万円

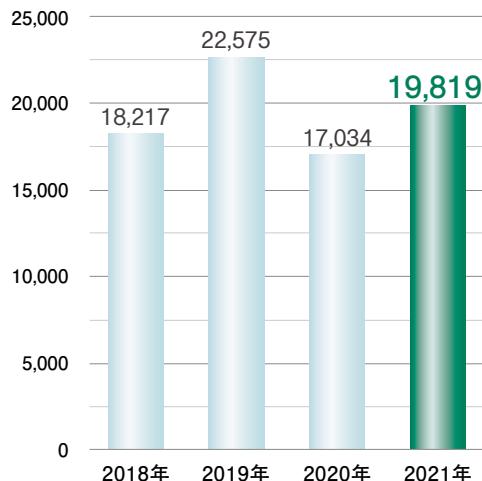
(前期比 3億5,200万円増)



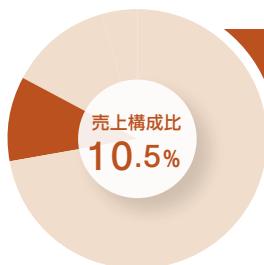
売上高は198億1,900万円(前期比16.3%増)、営業利益は5億6,400万円(前期比165.8%増)となりました。

国内では、新型コロナウイルス感染症の影響により、前期は前々期に比べ年間を通して完成車メーカーの生産台数が減少しました。今期は、9月から期末まで世界的な半導体不足や東南アジアでの新型コロナウイルス感染拡大による部品供給不足により生産調整を余儀なくされましたが、2月以降の生産台数が回復したことで部品売上高が増加となりました。加えて国内での新型車種の立ち上げに伴う金型売上高も増加しました。

(単位:百万円)



制御システム事業



売上高

30億2,300万円

(前期比 4,900万円増)

営業利益

1億4,500万円

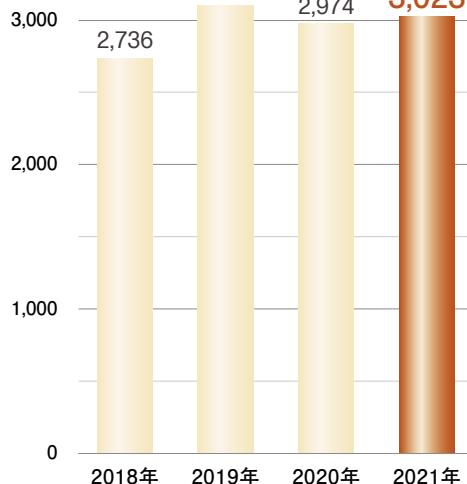
(前期比 5,900万円減)



売上高は30億2,300万円(前期比1.7%増)、営業利益は1億4,500万円(前期比29.1%減)となりました。

8月の東京オリンピック開催に伴い、一時的に主要得意先の非居住建築案件がストップしましたが、他の得意先からの受注で補うことができました。営業利益は固定費の増加により、減少となりました。

(単位:百万円)



ロボットシステム事業

売上構成比
12.8%

売上高

37億1,700万円

(前期比 5億5,100万円減)

営業利益

3,300万円

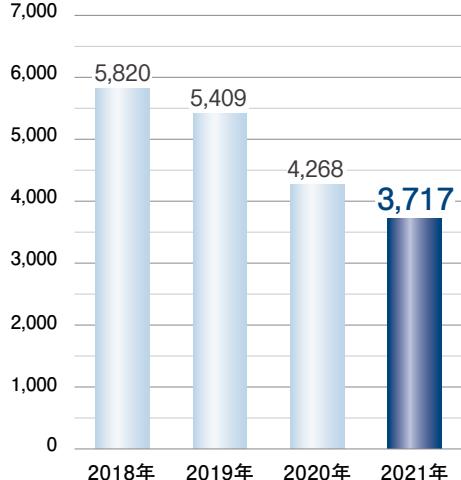
(前期比 2億4,000万円減)



売上高は37億1,700万円(前期比12.9%減)、営業利益は3,300万円(前期比87.7%減)となりました。

国内及び海外工場向けの自動化システムの国内受注が、新型コロナウイルス感染症の影響により設備投資需要が減少したことに加え、受注単価低下の影響を受け、売上高及び付加価値が減少となりました。

(単位:百万円)



モータースポーツ、賃貸及び太陽光事業

売上構成比
4.4%

売上高

15億3,800万円

(前期比 2億6,900万円増)

営業利益

1億7,200万円

(前期比 2億2,000万円増)

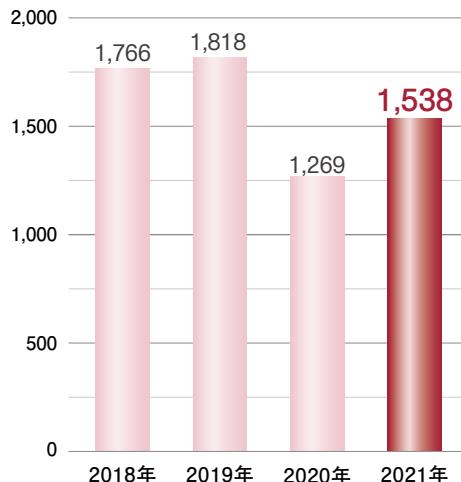


売上高はモータースポーツ事業で10億5,500万円(前期比38.8%増)、賃貸及び太陽光事業で4億8,300万円(前期比5.1%減)となりました。

営業利益はモータースポーツ事業で7,800万円(前期は1億2,300万円の営業損失)、賃貸及び太陽光事業で9,400万円(前期比25.4%増)でした。

前期は、1月にコースの改修により1ヶ月間休業したことに加え、全てのイベントが、新型コロナウイルス感染症の影響で開催できませんでしたが、今期は人数制限が一部あったものの観客を動員して開催することができました。

(単位:百万円)

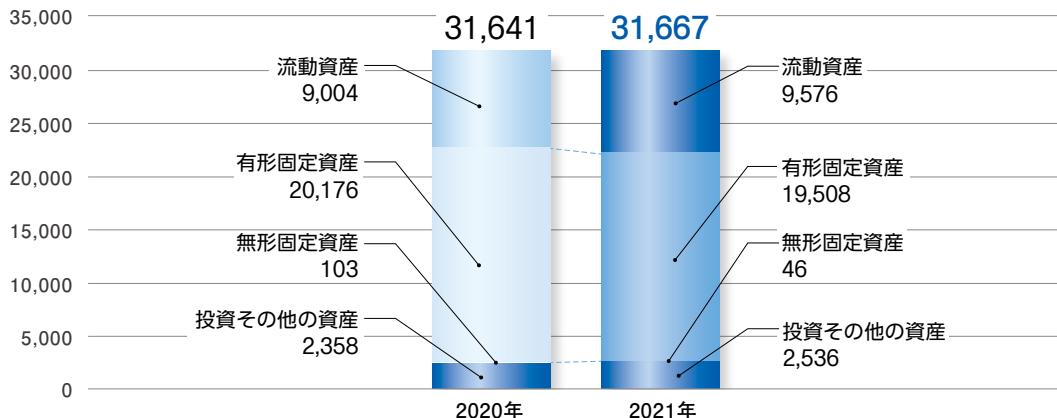


連結貸借対照表(要約)

(2021年11月30日現在)

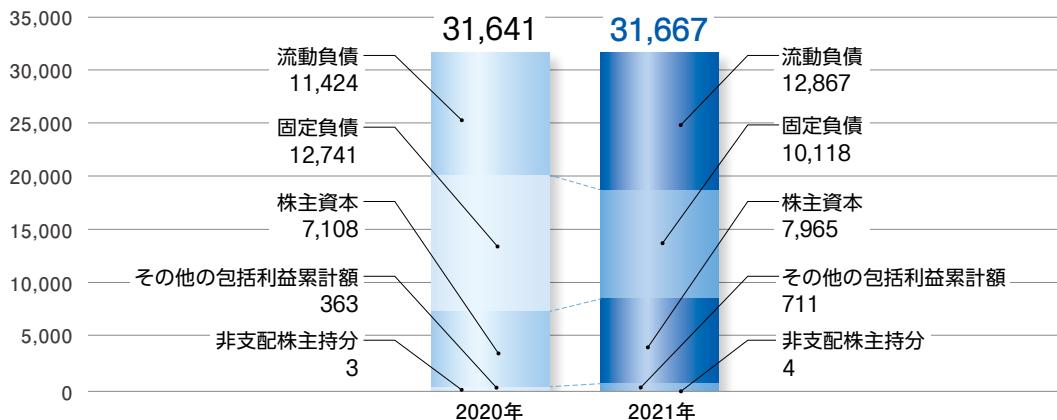
● 資産の部

(単位:百万円)



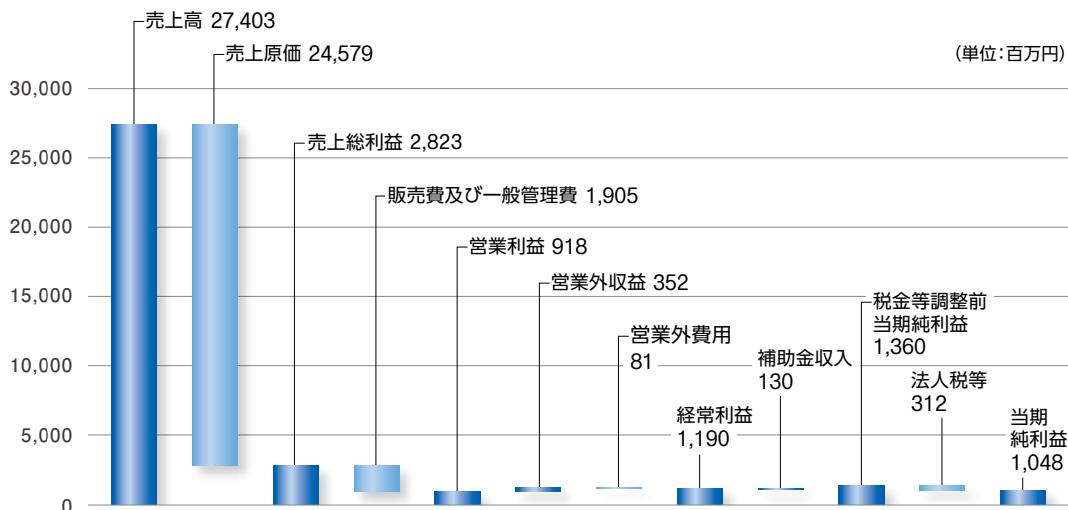
● 負債の部

(単位:百万円)



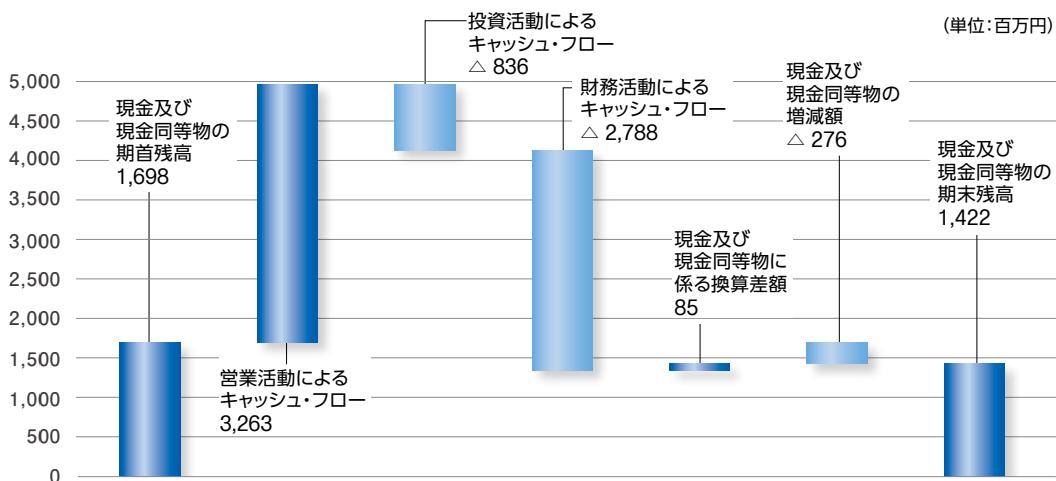
連結損益計算書(要約)

(2020年12月1日から2021年11月30日まで)



連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(2020年12月1日から2021年11月30日まで)



● 連結貸借対照表(要約)

(2021年11月30日現在)

(単位:千円)

科目	前期	当期
資産の部		
流動資産	9,004,003	9,576,664
現金及び預金	1,698,629	1,422,303
受取手形及び売掛金	4,407,104	4,846,094
商品及び製品	151,972	153,250
仕掛品	1,404,297	1,615,449
原材料及び貯蔵品	337,689	432,251
その他	1,004,309	1,107,316
固定資産	22,637,341	22,091,155
有形固定資産	20,176,241	19,508,568
建物及び構築物	8,021,867	7,701,056
機械装置及び運搬具	4,022,761	3,844,843
土地	5,750,793	5,782,731
建設仮勘定	1,674,129	1,094,048
その他	706,689	1,085,887
無形固定資産	103,068	46,439
投資その他の資産	2,358,031	2,536,146
投資有価証券	1,351,102	1,843,335
長期貸付金	137,448	45,763
繰延税金資産	183,294	134,089
退職給付に係る資産	29,228	57,889
その他	656,956	455,067
資産合計	31,641,344	31,667,819

科目	前期	当期
負債の部		
流動負債	11,424,819	12,867,676
支払手形及び買掛金	2,619,150	3,238,614
電子記録債務	1,955,554	1,607,442
短期借入金	1,740,000	2,030,000
1年内返済予定の長期借入金	3,658,218	3,407,042
リース債務	103,715	109,545
未払法人税等	110,976	225,190
賞与引当金	42,089	43,626
前受金	286,713	632,787
設備関係支払手形	—	71,749
その他	908,401	1,501,676
固定負債	12,741,028	10,118,447
長期借入金	11,085,516	8,528,279
リース債務	377,820	289,515
繰延税金負債	19,274	19,274
役員退職慰労引当金	393,665	413,665
退職給付に係る負債	796,210	797,620
その他	68,540	75,091
負債合計	24,165,848	22,986,124
純資産の部		
株主資本	7,108,522	7,965,930
資本金	903,842	903,842
資本剰余金	900,444	900,444
利益剰余金	5,307,869	6,165,296
自己株式	△ 3,633	△ 3,653
その他の包括利益累計額	363,292	711,601
その他有価証券評価差額金	432,240	596,044
為替換算調整勘定	△ 68,025	93,986
退職給付に係る調整累計額	△ 922	21,570
非支配株主持分	3,681	4,163
純資産合計	7,475,496	8,681,695
負債純資産合計	31,641,344	31,667,819

● 連結損益計算書(要約)

(単位:千円)

(2020年12月1日から2021年11月30日まで)

科目	前期	当期
売上高	24,902,897	27,403,095
売上原価	22,533,945	24,579,744
売上総利益	2,368,951	2,823,351
販売費及び一般管理費	1,723,626	1,905,108
営業利益	645,325	918,243
営業外収益	144,645	352,858
営業外費用	173,865	81,088
経常利益	616,105	1,190,013
特別利益	88,852	170,591
特別損失	—	300
税金等調整前当期純利益	704,958	1,360,304
法人税、住民税及び事業税	234,862	336,494
法人税等調整額	12,453	△ 24,438
当期純利益	457,642	1,048,248
非支配株主に帰属する当期純損失	△ 88	218
親会社株主に帰属する当期純利益	457,730	1,048,029

● 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:千円)

(2020年12月1日から2021年11月30日まで)

科目	前期	当期
営業活動による キャッシュ・フロー	2,309,086	3,263,852
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 2,585,961	△ 836,913
財務活動による キャッシュ・フロー	124,517	△ 2,788,326
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 33,227	85,060
現金及び現金同等物の 増減額	△ 185,584	△ 276,326
現金及び現金同等物の 期首残高	1,884,213	1,698,629
現金及び現金同等物の 期末残高	1,698,629	1,422,303

『ファイバー式レーザー複合機』導入

制御システム事業でファイバー式レーザー複合機を導入しました。

板金加工における“切断”工程を自動化・高効率化を図る上で注目されている設備の一つで、“ファイバーレーザー”を用いて、切断加工を行うものです。自由曲線を描ける為加工における自由度が高く、かつCAD・CAMを読み込ませることで切断工程の完全な自動化によって、高い生産性を実現することが可能になりました。

切断スピードも2~3倍早くなり、消費電力が少なく電気代においては従来より1/3程度となります。

波長が短くビーム吸収率が高い為、銅や真鍮、アルミといった(高反射材)への加工が容易に可能となりました。



デザイン物置

制御システム事業の新商品として機能門柱、物置の製造を始めました。

当社は、設計・評価・製造を担当しています。

エントランスに調和するデザインの機能門柱は、インターホン、ポスト、宅配ボックス、物置、表札を備えています。シンプルで高機能な構造に高級感を演出するブラック塗装、取手部にLED照明を内蔵し夜間演出を引き立てます。

おしゃれなエクステリアに調和するデザイン性が高い物置は、開きドアなので物の出し入れが容易です。また、2,100通りの鍵を採用しセキュリティも万全です。天面パネル内側には断熱材を、背面パネルには換気用ルーバーを設けています。



FACE to FACE

新型コロナウイルス感染症の影響で様々な商品が開発される中、2020年よりロボットシステム事業にてFACE to FACE (AI顔認証体温測定システム)の開発・商品化を実現しました。

細かな設定が不要で電源を入れるだけの簡単設置・簡単操作で、「1秒で体温・顔認識」「異常時は音を出して通告」してくれます。また、検温履歴をエクセルで確認することができます。

各工場、グループ会社にも設置しております。また、お客様にご好評をいただいております。

グループ会社である「株式会社MIRAI-LAB」が販売を担当し、販売活動に力を注いでいます。



AS刈谷 サッカークラブチーム&レーシングチーム

アスカがサポートする社会人サッカークラブチーム「AS刈谷」。

昨年一年間新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止されていた東海社会人二部リーグ戦が再開されました。しかし、無観客試合での開催となっています。今期の成績は3位となりました。今は、皆さまにご覧いただけるよう、新型コロナウイルス感染症の終息を願い日々練習に励んでいます。

2019年より発足したレーシングチーム「AS刈谷」。

サーキット走行が好きなメンバーが集まり、軽自動車部門にてレースを楽しみながら参加しています。今シーズンは軽自動車部門2位でした。定期的に練習走行会を行い、首位をとれるよう腕を磨いています。



会社概要

社名	アスカ株式会社
英文社名	ASKA CORPORATION
設立	1953年(昭和28年)12月25日
資本金	903,842,275円
社員数 (2021年 11月30日現在)	609名 非常勤3名、子会社への 出向者24名は含まれておりません
取引銀行	三井住友銀行、三菱UFJ銀行、 愛知銀行、三十三銀行、 商工組合中央金庫、 大垣共立銀行、十六銀行、 百十四銀行、みずほ銀行、三菱UFJ信託銀行 百五銀行、信金中央金庫

事業所

本社 本社工場	〒448-0002 愛知県刈谷市一里山町東吹戸11番地 TEL 0566-36-7771 FAX 0566-36-8090
幸田工場	〒444-0122 愛知県額田郡幸田町大字六栗字平松14番7 TEL 0564-62-6511 FAX 0564-62-6542
高浜工場	〒444-1301 愛知県高浜市新田町三丁目1番地3 TEL 0566-54-2435 FAX 0566-54-2436
豊田工場	〒473-0923 愛知県豊田市中根町大切50番地1 TEL 0565-51-2755 FAX 0565-52-1245

事業内容

自動車部品事業	ピラー、サイドルーフレール、 フロアクロス、ルーフボウ、 ラジエーターサポート、 エンジンマウント等
制御システム事業	分電盤、制御盤、FAボックス、 制御装置、盤用キャビネット等
ロボットシステム事業	産業用ロボット「ユニロボ」、 自動化システム、情報通信機器等
モータースポーツ事業	岡山国際サーキットの経営
賃貸及び太陽光事業	倉庫・工場の賃貸業務、 太陽光発電による電力の売却

役員

(2022年2月25日から)

代表取締役会長	片山 敬勝
代表取締役社長	片山 義規
専務取締役	竹之内敏昭
常務取締役	片山 義浩
常務取締役	太田 雅文
常務取締役	神谷 政志
取締役	杉本 篤哉
取締役	杉浦 隆浩
取締役(常勤監査等委員)	内田 陽造
社外取締役(監査等委員)	丹治 正幸
社外取締役(監査等委員)	川辺 達也

株式の状況

(2021年11月30日現在)

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式の総数	5,715,420株
株主数	655名

大株主の状況

(2021年11月30日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社CIS	1,082,600	18.96
ニチアス株式会社	928,440	16.26
株式会社三井住友銀行	281,600	4.93
アスカ社員持株会	190,860	3.34
片山敬勝	171,240	2.99
片山義規	153,900	2.69
株式会社三菱UFJ銀行	150,000	2.62
株式会社愛知銀行	144,000	2.52
片山義浩	118,200	2.07
株式会社三十三銀行	114,000	1.99
株式会社商工組合中央金庫	114,000	1.99

株主メモ

事業年度	12月1日～翌年11月30日
期末配当金受領株主 確定日	11月30日
中間配当金受領株主 確定日	5月31日
定時株主総会	毎年2月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711(通話料無料)
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 </div>
上場証券取引所	名古屋証券取引所市場第二部
証券コード	7227

株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きで必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要があります。

公告の方法

電子公告により行います

◎ 公告掲載URL

<http://www.aska.co.jp/kessan/index.html>

ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

注意

株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。なお、未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。



アスカ株式会社

E-mail : aska-information@aska.co.jp

ホームページのご案内

<https://www.aska.co.jp>

アスカ株式会社のホームページでも、IR情報（投資家様向け情報）をご覧ください。ぜひ、こちらもご利用ください。

